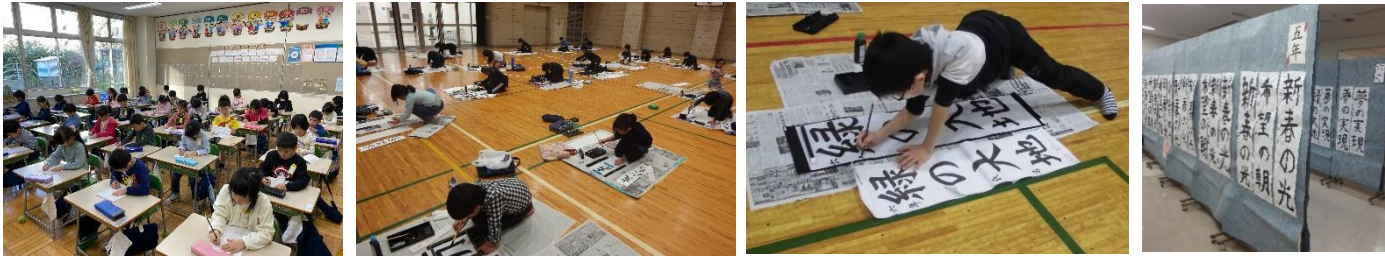


## 書き初め

3学期が始まり、各学年で書き初め会を行いました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、新しい年を迎えた清々しい気持ちで取り組みました。初めての1年生は、鉛筆の持ち方や書く姿勢を確かめ、どの子も今までで一番よい字を書こうと真剣な眼差しで取り組みました。また、3年生は毛筆での書き初めに、緊張の空気が体育館いっぱいに流れていました。どの学年も、一文字ずつゆっくりと丁寧に書き、練習の成果を出すことができました。その後は、一生懸命に取り組んだ作品を校内に掲示し、校内書き初め展を行いました。(国語部 高井周子)



## 委員会発表



御成門小学校では、5・6年生が7つの委員会に所属して活動しています。それに加えて、4～6年生で構成されている代表委員会があります。委員会は、前期(4～9月)・後期(10月～3月)に分かれています。子供たちは、所属した委員会ごとに校内の仕事を分担し、それぞれ工夫しながら活動しています。月に一回、木曜日の6校時に委員会の時間が設けられていて、学校生活がよりよいものとなるよう、委員会ごとに活動の計画や振り返りを行っています。また、委員会の活動内容に合わせて、朝の時間や休み時間などに毎日意欲的に活動しています。

委員会発表では、各委員会の活動報告や全校児童への呼びかけを行うことで、下学年の子供たちが普段気付かないところで学校生活を支えてくれている高学年の活動を知るとともに、自分たちにできることを考えるよい機会となりました。(特別活動担当 田邊あゆみ)

## 下着を着用するよさ

1月27日(月)4校時、男子は養護教諭の大竹先生から、女子はワコール主催の「つぼみスクール」で、下着の選び方や下着の機能、下着を着用するよさなどを学びました。



男子は、教室で、下着を着用した場合、着用しなかった場合の湿度や温度の違いなど、科学的な観点から、下着を着用するよさを理解しました。また、最近の下着は、吸湿、防臭等の機能が備わった下着もあることから、綿100%の下着だけでなく、用途に合わせて上手に下着を選ぶことの大切さについても知りました。

女子は、体の成長に合わせた下着の選び方について学びました。体の成長に合わせて、選ぶ下着を変えていくことの大切さを知りました。体の成長には、ステップ1、2、3という段階があること、その段階に合った下着があること、その下着を選ぶ際にはサイズが大切になること、そのためにはまず自分のサイズについて知ることが学びました。

子供たちの感想から、「下着について考えたことがなかったけど、今回の勉強で知ることができて、次から大竹先生から聞いたことを生かして下着を選ぼうと思った。」「今まで下着についておうちの人に相談したことがあったけど、まだ早いと言われた。でも、今回のお話を通して、下着の必要性を感じたから、再度しっかり下着の必要性を伝えて買ってもらおうと思う。」などの意見がありました。(4年担任 町田真由美)

## 防災訓練

今年度も芝消防署、芝地区総合支所、日赤奉仕団、地域支援本部の皆様のご協力により地域防災訓練を実施しました。各学年の実態に合わせて水消火器を使った初期消火訓練、止血法や添え木による固定法を学ぶ応急処置訓練、竹馬を使った搬送体験、AEDの操作体験、避難所で使用する仮設トイレの設置や災害時に配給される $\alpha$ 米の試食など多くの体験活動を実施することができました。内容によっては子供には早いと思われるものもあったかもしれませんが、真剣な眼差しで大人の説明を聞き入っている子供たちの様子から、一人一人の防災に対する意識の高まりを感じられました。今回の訓練を生かしてさらに「自助」「共助」「公助」の意識を育てていけるように今後も指導してまいります。(生活指導主任 吉村徹志)



## 防災フィールドワーク

3年生から5年生までの児童が、防災マップ作りのためのフィールドワークをしました。天気もよく、消防署、港区防災課、芝地区総合支所、保護者、地域の防災士、地域支援本部の皆様に見守られ、学区を歩きました。何気なく回るのではなく、災害時に何が安全なのか、危険なのかを皆で見て考えながらフィールドワークをしました。普段何気なく歩いている通学路も、よく見るといろんなことに気付くことができました。各学年の子供たちが意見をよく出し合って、危険なところに赤シール、安全なところに青シールを貼りながら進みました。調べた内容は、6年生が地図にまとめて防災マップを作ります。自分たちが住む地域を見直す大変よい機会となりました。(5年担任 大阿久孝子)



## 赤ちゃん先生—第2学年生活科「自分はっけん」—

ママの働き方応援隊の方々による、赤ちゃん先生の学習を行いました。0歳6か月から1歳7か月までの6人の赤ちゃんたちと対面すると、「かわいい!」と子供たちは大喜び。赤ちゃんの一日の過ごし方を学び、赤ちゃんはたくさん寝て過ごしていることを知りました。赤ちゃんを抱っこしてみたり、赤ちゃんと足や手の大きさを比べたりと触れ合う体験もしました。赤ちゃんの小ささに驚きながらも、楽しく活動しました。はいはいが得意な赤ちゃん、歩き始める赤ちゃん…子供たちは赤ちゃんの動き1つ1つに見入っていました。「私も、赤ちゃんの時、こうだったのかな。」と嬉しそうに話していました。

この後、子供たちは自分の赤ちゃんの頃について家族にインタビューをしてまとめる学習を行っていきます。(2年担任 林依子)

